

令和5年版 環境白書

自然環境

コウトリが舞う里づくりの推進

越前市農政課



越前市の豊かな自然

里地里山



国内最大生息地

コウノトリの特徴

簡単に言うと...

里に棲む大きくて優雅な鳥

コウノトリ(*Ciconia boyciana*)

- 分布** 中国やロシアを中心に分布
- 翼開長** 約2m
- 体重** 4~5kg
- 食性** 肉食
- 餌生物** ドジョウ、フナ、昆虫など
- 習性** 成鳥は鳴かずクチバシを打ち鳴らし音を出すクラッタリングを行う。
- 生息数** 世界で約3000羽
- その他** 国の特別天然記念物



日本の**野生個体群は絶滅し、野生復帰**が行われている。²

物語

Story



Photo by S. Hatta

昭和32年～39年：矢船町でコウノトリが営巣





昭和45年：黒川町にくちばしの折れたコウノトリが飛来



Photo by T. Hayashi

昭和46年：「武生(コウちゃん)」のためにドジョウを集める子供たち₇

Photo by T. Hayashi



昭和46年：豊岡に移送されるため保護された「武生」



平成22年4月1日：白山地区2羽のコウノトリが飛来うち1羽が長期滞在 9

平成22年4月1日白山地区にコウノトリ2羽が飛来

1羽が王子保地区で107日間滞在

- 市は名前を公募し、499件の中から「えっちゃん」に決定
→ 「えっちゃん」に特別住民票も発行！

以後、12年連続(平成22年～令和3年)でコウノトリが飛来！



越前市に長期滞在した
「えっちゃん」



巣作りする2羽のコウノトリ

今、白山地区で行われていること

福井県と兵庫県が行うコウノトリの
飼育・繁殖及び野生復帰に向けた試験

なぜ？

- 兵庫県以外の個体群の復活
- 感染症などのリスクの軽減 etc.





平成23年12月10日～ 白山地区でコウノトリ飼育開始

2014年～ コウノトリ ひな誕生



コウノトリ大空に舞う (平成29年10月8日:放鳥式)



大空へ飛び立つほまれくん

- 平成23年12月 福井県が越前市でコウノトリの飼育を開始
- 平成26年 6月 兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、全て孵化
- 平成27年10月 うち2羽を放鳥
- 平成28年 5月 兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、うち2羽孵化
- 平成28年 9月 2羽を放鳥
- 平成29年 5月 兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、全て孵化
- 平成29年10月 うち2羽を放鳥
- 平成30年 4月 飼育コウノトリが4個の有精卵を産卵、全て孵化
- 平成30年 9月 3羽を放鳥

コウノトリが舞う里づくりの成果

平成22年4月1日 白山地区にコウノトリ2羽が飛来

1羽が王子保地区で107日間滞在、市は名前を公募し「えっちゃん」に決定！
以後、13年連続(平成22～令和4年)でコウノトリが飛来！

平成29年2～3月に野外コウノトリが白山地区で産卵！県内で51年振り！

平成30年4月に飼育コウノトリが産卵！4羽孵化！

県内で産まれた卵から雛が誕生したのは54年振り！

平成31年3～4月に2組の野外コウノトリが白山地区で産卵！5月に3羽のひな誕生！

県内で野外のコウノトリから雛が誕生したのは55年振り！

令和2年6～7月に野外コウノトリが白山地区から4羽の巣立ちが実現！越前市初！

令和3年6～7月に2年連続4羽の巣立ち。坂口地区で初めての巣立ちが実現！

令和4年6～7月に3年連続7羽の巣立ち。延べ15羽

令和5年6月に4年連続6羽の巣立ち。延べ21羽



越前市に長期滞在した
「えっちゃん」



野外で産卵、孵化した
「たからくん」と「みやび」のペア



県内で55年ぶり誕生したひなと「たからくん」
令和元年5月13日確認
(写真提供 古木 仁さん)

令和2年4月 安養寺町
2年連続野外コウノトリのひな誕生。順調に成長



さーくん
(J0301)

やまちゃん
(J0301)

しらくん
(J0299)

あーちゃん
(J0302)

令和5年度は4年連続の巣立ち 安養寺町・下中津原町

- 安養寺町の巣塔では、
4年連続となる2羽の巣立ちが実現
 - ・愛称「翡翠(ひすい)」 J0526 メス
 - ・ 「コノカ」 J0527 メス



左から、コノカ、翡翠

- 下中津原町の巣塔では、
3年連続となる4羽の巣立ちが実現
 - ・愛称「舞(まい)ちゃん」 J0514 メス
 - ・ 「勇(ゆう)くん」 J0515 オス
 - ・ 「風翔(ふうと)くん」 J0516 オス
 - ・ 「笑(えみ)ちゃん」 J0517 メス



左から、風翔くん、笑ちゃん、勇くん、舞ちゃん

越前市食と農の創造ビジョン



「生きものと共生するコウノトリが舞う里づくり」について

(1) 食育・地産地消の推進

家庭・地域・学校・JA等と行政が互いに連携し、食育や地産地消を推進します。

(2) 環境調和型農業の推進と農産物のブランド化

コウノトリをシンボルとした「安全、安心」「生きものとの共生を目指す」越前市ブランドを確立します。

(3) 里地里山の保全再生

里地里山の自然と環境を守るための保全活動を推進します。

(4) 農村の資源を活かし、コウノトリをシンボルとした交流活動の推進

農村の魅力を発信し、交流を深める取組みを推進します。



令和2年度～食と農の創造ビジョンに統合し推進⁸

(1) 食育・地産地消の推進

体験を通じた食育の推進



地場産農産物を使った食育の推進



食育の普及啓発

(2) 環境調和型農業の推進

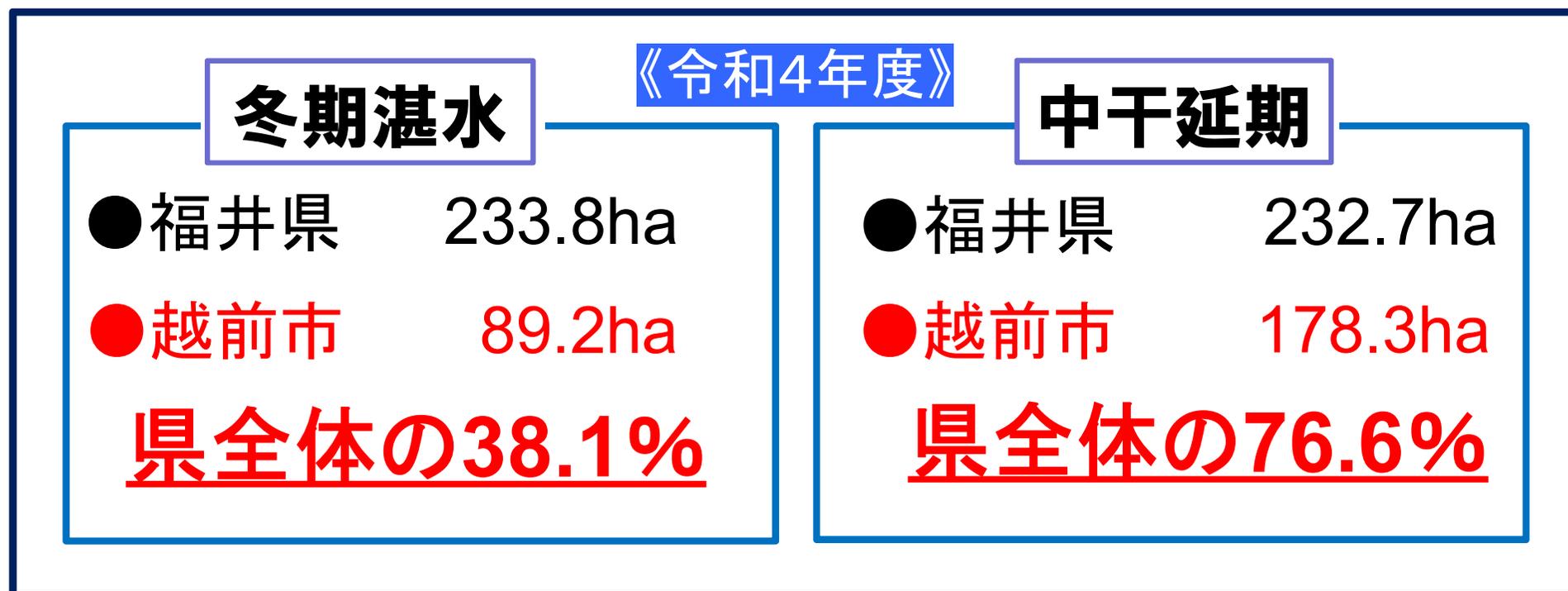
- 平成21年1月「コウノトリ呼び戻す農法部会」が発足
コウノトリをシンボルに**安全・安心な米作り**を行う
- 人と生き物に優しい**無農薬・無化学肥料栽培**を推進！
- 冬期湛水(冬水田んぼ)と中干延期の実施



コウノトリ呼び戻す農法米の圃場にて

コウノトリ呼び戻す農法部会

(2) 環境調和型農業の推進



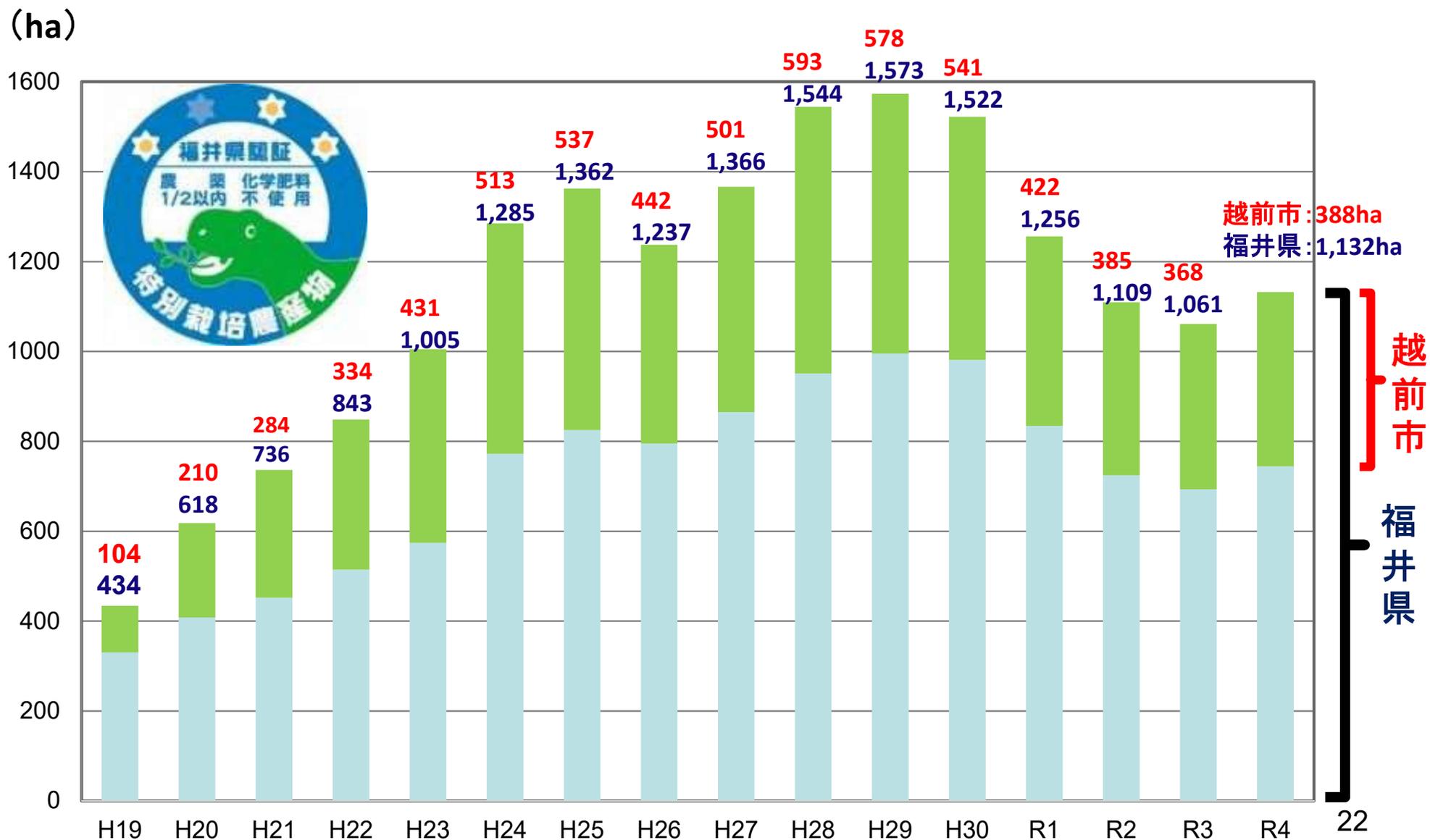
「令和4年度環境保全型農業直接支払交付金の全国取組み面積」
福井県 全国11番目 2,156ha（北海道を除く）



全国トップクラスで環境調和型農業に取り組む福井県の中で、
越前市は環境調和型農業の中心

(2) 環境調和型農業の推進

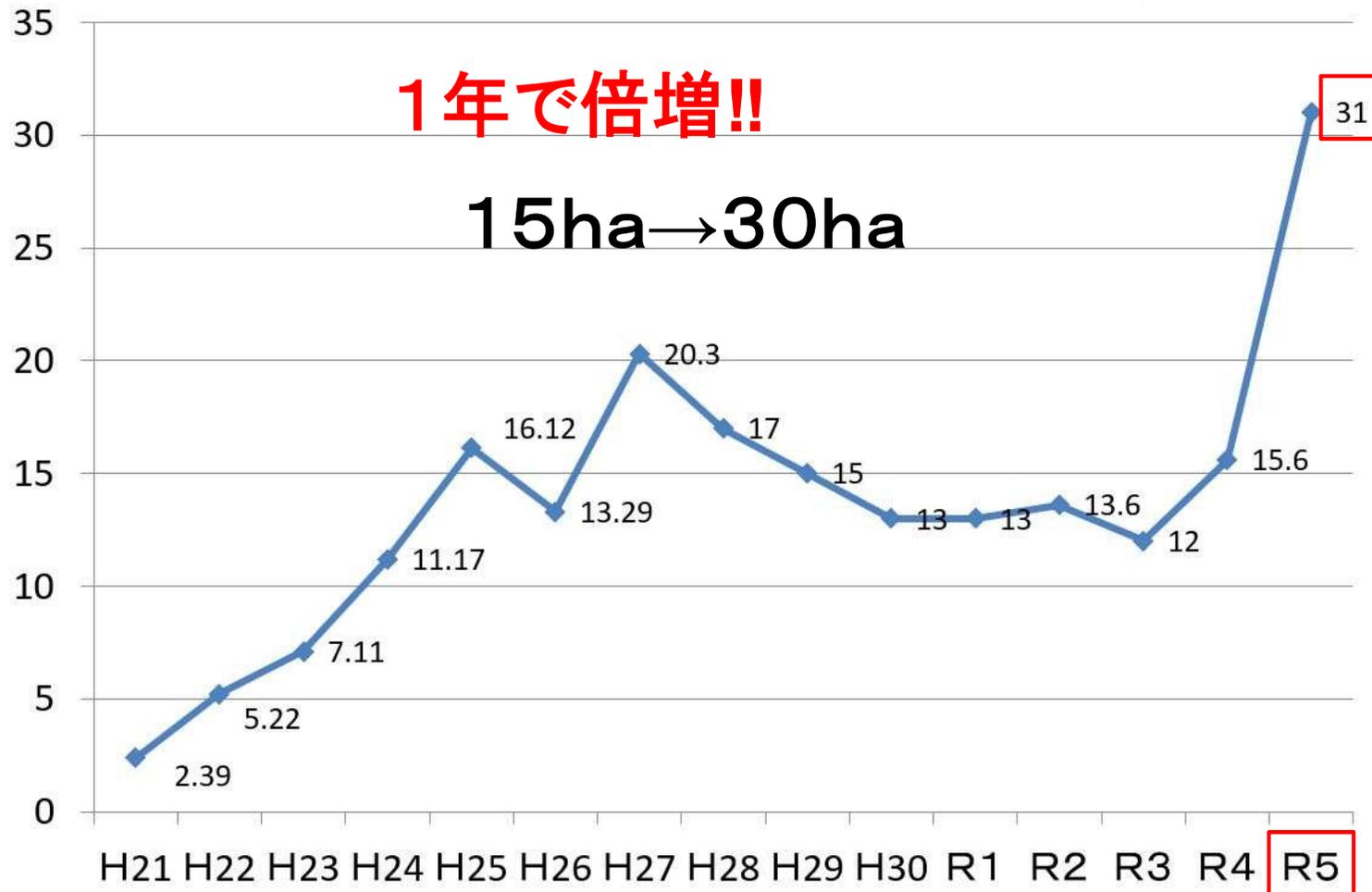
県内の特別栽培米作付面積の約34.2%を越前市が占める



規模感ある有機農業

実績

「コウノトリ呼び戻す農法」の作付面積



全体実績

有機栽培面積(水稲・そば等) **38haの増!!**

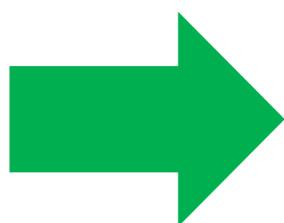
R4実績

241ha

R5

279ha

→



東京ドーム

約8個分の面積増

有機農業の拡大

国の「みどりの食料システム戦略」を活用

「有機転換推進事業」(反当り2万円を補助)

新たに6名が「慣行栽培」から「有機栽培」へ転換

「有機農業産地づくり推進事業」 ※県基本計画に市全域を特定区域として位置付け

1.2haの実証圃での水稻栽培を通しノウハウを蓄積

50年に及ぶ有機農業の先駆者が持つ

経験則をマニュアル化

- ・水管理による抑草
- ・追肥の適期を画像判断
- ・ドローンによる省力化



有機栽培技術をデジタル化し、スマート技術へ

(2) 農産物のブランド化

コウノトリブランドとは...

越前市内で生産されたコウノトリとゆかりがある農産物やその加工品。自然環境への配慮や食の安全安心に対する取組がなされているもの。



(3) 里地里山の保全再生①

コウノトリも生息し続けられる環境(休耕田ビオトープ)

生きものの生息場となるビオトープづくり



休耕田ビオトープの整備
10.5ha(令和4年度末実績)

(3) 里地里山の保全再生②

コウノトリも生息し続けられる環境(水田退避溝)

水田退避溝の整備
47.4a(令和4年度末実績)



(3) 里地里山の保全再生③

コウノトリも生息し続けられる環境(水田魚道)



水田魚道の整備 22箇所
(令和5年度末実績)

(3) 里地里山の保全再生④

コウノトリも生息し続けられる環境(希少野生生物の保全活動)

絶滅のおそれのある種の生息環境を保全



(4) 農村の資源を活かし、コウノトリをシンボルとした交流活動の推進

《越前にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ》

農村空間を、自然生態・環境学習・農業体験の場、そして農業者と消費者の交流、相互理解の場として積極的に活用。

コウノトリ呼び戻す農法米を作ることを通して、環境調和型農業の普及推進と、コウノトリをシンボルに多様な生き物の生息する里地里山の保全再生を進める。

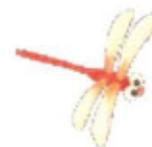
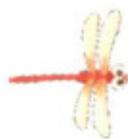


(4) 農村の資源を活かし、コウノトリをシンボルとした交流活動の推進

人と自然の共生に取り組む地域との都市間交流を行い、地域づくりや自然再生のノウハウを共有し、本市の「コウノトリが舞う里づくり」の取組を、全国に発信。



鴻巣市議会行政視察(R5.10.24)



ご清聴ありがとうございました。

～ コウノトリが舞う里を未来の世代へ ～

越前市 環境農林部 農政課

